

福島中学校のみなさんへ

福島商業高校の未来は

高校の在り方検討協議会 中間報告より

1

BE HAPPY FUKUSHIMA

HOKKAIDO FUKUSHIMA TOWN

福島商業高校はがんばっています.

- **資格取得**～これからは「資格」の時代です。社会で生きていくために役立ちます。
簿記・会計・情報処理・ビジネス文書・英語検定など
- **公務員・看護講座**～福島町からの補助により、公務員試験などの勉強をしています。
令和2年度は、小樽市役所、福島町役場2名、福島消防署1名の実績
- **就職**～金融系や地元企業など、皆さんが知っている会社に就職しています。
令和2年度は、道南うみ街信金、渡島信金、函館どつく、桧山電気など
- **進学**～おもに商学部や経済学部などの4年制大学、短期大学に進学できます。
令和元年度～北海学園大学、函館大谷短期大学など
令和2年度～小樽商科大学、函館短期大学など

なのに、福島中学校からの進学が少ないのはどうして？

3

なぜなのか、考えてみました

▶ 友だち関係？

保育所から小学校、中学校までずっと一緒にの友だち。
高校ではもっと多くの人と友達になりたい。

▶ 部活？

福島商業高校は人数が少ないので、自分のやりたい部活がない。

▶ とりあえず普通高校？

将来の希望などまだ決めていないので、とりあえず普通高校に行きたい。

みなさんの思いを
解決しなければ..

▶ 福島中生徒の進路

学校名	R1	H30	H29	H28
北海道福島商業高等学校	5	8	11	16
知内町立知内高等学校	11	7	9	7
函館市内公立高校	4	5	3	7
函館市内私立高校	3	2	6	2
その他道内高校	2	2	2	0
合計	25	24	31	32

そこで、全国募集します

▶ 奥尻高校の成功例～「まなびじま・奥尻」の取り組み

- ・平成28年に道立高校から**町立高校**に
- ・平成29年度から**全国募集を開始**
- ・町外から**令和2年度は21名**、令和元年度は15名
- ・奥尻町では、「奥尻独自の取り組みがうまくいって、**評価が徐々に高まってきた**。島外から来た生徒が生き生きと高校生活を送っている姿を見て、島外に流れていた**地元の中学生も奥尻高校を選ぶようになった**。」と考えています。

区分	R2	R1	H30	H29
町内	10	16	16	10
町外	21	15	6	5
合計	31	31	22	15



松風寮

定員42名。H30年度、R元年度2か年で、約3億円をかけて整備しています。

全国募集のメリットは？

- 生徒数を増やす～北海道にあこがれる本州の人は多い？
豊かな自然、おいしい食べ物、涼しい気候が福島町にはあります。
- 今まで見たことがない、全国の人と友だちになれる？
保育所から中学校までの友だちだけではなく、全国の仲間と交流ができます。
- 福島町の人口が増える？
若い人がいれば町に活気が生まれます。

※ デメリットは、寮の建設や運営に多くのお金がかかること

NORTHERNMOST REBUN STUDY ABROAD PROGRAM

海の向こうには新しい世界が待っている。

最北 留学

2021年度礼文高校 **全国募集!**

日本最北の高校「北海道礼文高等学校」では、全国から入学生を募集しています。

礼文高等学校 北海道礼文高等学校
TEL 0143-86-2119 FAX 0143-86-1790 MAIL gaku@rebuon.hokkaido.jp

北海道礼文高等学校
TEL 0143-87-2338 FAX 0143-87-2301 MAIL rebusu-e@hokkaido-c.ed.jp

最北礼文留学

道立高校の礼文高校も令和2年度から全国募集を開始。今年は本州から6名、稚内市などから3名、地元から12名の計21名が入学。

魅力ある高校づくり

▶ 地域密着型の授業を展開

全国からやってくる仲間と、福島町ならではの授業を行います
検討している内容～福島町の産業、資源、歴史、観光等に関する授業

▶ 部活動の充実

高校での部活動が充実できるよう福島町も応援します。

部活動の新設 → 「吹奏楽」「総合文化（書道・美術・イラスト等を含）」

活動の工夫 → 中学校との合同練習、地域との連携

人数の少ない部→ 管内高校との合同チームを検討

▶ 福島町からの手厚い支援を継続します

入学祝金 10万円、自動車運転免許取得費 10万円を助成

資格試験の受験料・通学バス代・全道大会出場旅費を全額補助

海外研修旅行の旅費を助成 など

大きな課題

- ▶ 来年度、新入生が10名を切ってしまうと、道立高校として存続できません。
- ▶ 北海道教育委員会との協議、寮の建設に2年かかってしまいます。
令和3年度（1年生）令和4年度（2年生）は全国募集の準備
令和5年（3年生）から全国募集の生徒が入学となる予定です。

福島商業高校は地元の高校として、さらなる教育活動の充実に取り組んでいきます。

将来、胸を張って「私は福島商業高校の卒業生です」と言ってもらえるよう、

町長をはじめ、福島町教育委員会は最大限努力することを約束します。

新しい福島商業高校を応援していきます

卒業生の声

8

T・Sさん

(令和元年度卒業)
勤務先：福島町役場

普通科にはない商業科目は、得意・不得意もあります。得意な分野を伸ばしたり、不得意な分野が少しずつできるようになるのは、勉強が苦手な僕でも『学校楽しい!!』と感じました。また、共に学ぶ仲間や先生との思い出が沢山でき、充実した学校生活を送ることができました。みなさんも是非、地元に残って高校生活を楽しみましょう。

R・Sさん

(令和元年度卒業)
進学先：函館短期大学（保育学科）

私は幼い頃から保育士になりたいという夢がありました。商業を出て短大に行けるの?とっていたのですが、先生たちの熱心な指導のもと、無事合格することができ、現在保育士を目指し、日々勉強に励んでいます。卒業した今でも、休日には学校を訪問し、部活動を見学したりしています。卒業後は、地元の保育士採用を目指しています。生まれ育った大好きな福島町への恩返しも含め、福島町の子どもたちと触れ合っていきたいと思っています。自分の夢をかなえさせてくれた福島商業高校に感謝しています。

K・Bさん

(令和元年度卒業)
勤務先：福島町役場

福島商業高校の一番の魅力は、資格取得をするための環境が整っていることです。検定前の講習は一人ひとりの能力に合わせて指導してもらえるので、苦手を克服しながら勉強に打ち込めます。また、検定に合格した際は、町の助成制度で受験料が戻ってきます。そして、その助成制度は資格取得だけではなく、公務員・看護講習の受講料やテキスト代も負担してもらえます。現在、私が福島町役場で働いているのはその講習のおかげです。生まれ育った町の高校で学び、町の仕事に関わっていることにやりがいを感じています。

部活動は少ないながらも、放課後は各部で練習を積み重ねており、私が所属していたワープロ部では全道大会2位という結果を残しました。

授業では生徒が主体となって販売実習に取り組む「課題研究」やビジネスマナーや企業の業務を体験的に学ぶ「総合実践」などがあり、社会人として役立つことをたくさん身につけることができました。

福島商業高校では、就職や進学を問わず、将来の可能性を見つけることができます。自分をステップアップさせるための能力やスキルを身につけることができます。みなさんも福島商業高校に入学して充実した高校生活を送ってください。